



= 3 =

ごみ収集風景

昭和39年ごろ

(依田橋、吉原本町付近)



現在のごみ収集

各家庭のごみ箱から回収

当時のごみ収集は、週二回程度、オート三輪で各家庭を回り、家の前に置かれたごみ箱などから、竹で編んだかごにかき集めて車に積んでいました。

現在のように集積場所にまとめて出す方法で回収を始めたのは昭和四十二年から。また、燃せるごみと燃せないごみを分けて出すようになったのは昭和四十四年のことです。



依田橋町にお住まいの
青木 光江さん

ごみを家で処理することも多かった時代

当時、ごみは分別しなくてもよかったので、何でも一緒に出していました。ただ、残飯などの生ごみは庭へ埋めていましたし、紙などの燃えやすい物は家で燃やすことも多かったですね。

出すごみの量は今ほどは多くなかったように思いますが、次第にふえていったのもこのころからでしょうか。

こちら編集室

物を分解するのが好きな私。先日、メーカーから「修理不可能」と見放されたデジカメを、「ひょっとしたら直せるかも」という根拠のない期待と「中身はどうなっているんだろう?」という好奇心から分解してみることに。

中身は意外とシンプルで、米粒

のような小さな部品で、細かい回路がつけられていた。こんな小さなもので、何十枚もの映像を撮ったり保存したりしているなんてすごい!と感動。

もちろん素人の私に直せる訳もなく、数日後、新たなデジカメを買い直すことに...。(工学部卒)

人口 242,427人 (前月比 + 339)
 男 120,698人 (+ 212)
 女 121,729人 (+ 127)
 世帯 84,580世帯 (+ 463) 5月1日現在
 編集・発行 富士市総務部広報広聴課
 〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
 ☎51-0123(代) ☑51-1456

